

はじめての子ども食堂 アンケート結果【大人対象】

日時 平成30年5月4日(金) ※吉野作造記念館GWイベントの中で「子ども食堂」を開催しました。
 回答数 34名
 共催 NPO法人古川学人(吉野作造記念館指定管理者)、NPO法人ハッピーート大崎

1、お住まいはどちらですか？

- (1)大崎市 27名
- (2)県内(大崎市外) 6名
- (3)県外 1名

2、こども食堂を知っていますか？

- (1)知っている(仕組みを理解している) 6名
- (2)知っているが詳しくは知らない 21名
- (3)知らない 7名

3、子ども食事を作れないことがありますか？また、作れない理由はありますか？

- (1)作れている 27名
- (2)作れていない 5名

作れていない人のうち

作れない回数(週)	回答人数	作れない理由
6回	1名	仕事のため(祖母が作ってくれている)
3~2回	2名	仕事のため 具合が悪い時
1回	1名	仕事のため
わからない	1名	未回答

4、身近に子ども食堂があったら利用したいですか？

- (1)利用したい 27名

利用したい人のうち

どんな日に食事の提供があったらいいですか？

(単位:名)

朝食	昼食	夕食	平日	土日祝日	夏休み	冬休み	未回答
1	4	4	3	11	17	16	3

- (2)不要 6名

5、子どもの貧困について、自分自身に感じることや身近にそういった場面を感じることはありますか？

NHKの番組で子ども食堂について見て関心があります。

お腹、愛情、満たされない子、いると思います。

どこにでも食べられていない子がいるということ。

地域にたくさん子ども食堂が必要だと思います。ボランティア(コミュニケーションゲーム)をしています。
 イベントの時お手伝いをしたい。

今のところ身近に感じることはないですが、多くの子ども達がしっかりとした食事がとれることを望みます。
 家庭の色々な事情があると思いますが、児童館や放課後児童預かりの延長に夕食の提供などが
 あればいいと思います。

親として具合が悪くなり通院中、仕事に自信がなくなり必要は感じます。

今は必要としていないけど、上の子の時はなかったので、必要だと思うことの方が多かった。

習い事をもっとさせたいが、お金的に難しい。

孤食、お金を渡してお弁当を買っている。

近所の子どもがひとりで玉うどん1個を買いに行っていることを知っていたことがある。